

文芸コーナー

短歌

加藤恵美子選

俳句

田口 三石選

タやみに烏瓜の花白く咲く幸を呼ぶとの言葉いみじく
此の暑さエアコン強めて籠りある省エネ思へど老いて耐へ得ず
まだ来ずと電話口にて卒寿の義父に一日たがふと妻こたへをり
ひまわりに今朝は静かな風立ちて老いて生くべきいのち慰む
四照花のうす赤き実も葉の間に吹さくる風も淡淡と秋
木刈 山本 靖子
高 花 田中 兵作
小倉台 村越 博茂
木下東 平湯 涼子
原 野村 とく
木刈 渡辺 敏子
岩 戸 荒木 コト
滝 野 大友 俊彦
大 森 石井 章夫
舞 姫 堤 貴美子

＜短歌・俳句をお寄せください＞

一人一首または一句で未発表のもの。毎月 20 日締め切り（必着）です。投稿は、住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。

施設がいに

印西西消防署牧の原分署

広報レポーター：
中谷 久美子（内野）



▲特別に見せていただいた指令室の内部。ここでは各車の動きなどを管理

日に「印西地区消防組合消防本部」とともに開設。雨風の影響を受けやすいものの即座に出動が可能。今回の取材では、消防士みなさんの活動も交えてご紹介いたします。現在、印西地区（印西市・白井市）消防組合内には消防署が7署あり、基本的に各署に消防ポンプ車と救急車1台を配備。放水による水損を抑えるため、泡で消火する『キャブス』の導入も進ん



▲救急車・消防車にもさまざまな機能が

でいます。消防士の谷本さんの話では消防隊は「建物火災発生の場合、消防ポンプ車4台と救急車1台での出動が基本。最初に到着した車が先頭車両となり、車の水槽に常時1500ℓ貯水している水で初期消火を開始。後着車は防火水槽や消火栓にホースをつなぎ、先頭車両に水を送るのが役目」とのこと。真夏に防火服＋防火帽＋空気呼吸器を

装着しての消火活動は、熱中症の危険もあるとか。また「消火後は水槽内や防火水槽に水を補充し、使用したホースを洗う作業もあります」と聞き、その多忙さにビックリ！この分署には、ホース専用洗浄機や乾燥機が設置されているものの、節電のため天日干しが多いとか。燃え盛る炎と戦い、消火後も細やかな作業をこなす：頼もしい限りです。救急車には救急隊3人が乗車します。「あれ？火事じゃないのに消防車も？」という時は『PA連携』といって、救急隊だけの搬送が困難な場合、消防隊と連携し、計7人で出動しているからです。救急救命士の飯島さんによると「心肺停止など重篤な患者には、

救急救命士の資格を持った隊員が医師に相談しつつAED使用や気道確保などの処置をし、搬送。時にはドクターヘリの要請も。現場での苦勞は、医療機関と交渉し搬送先を一刻も早く探すこと。器具の進歩や処置拡大に対応するための勉強は非番の時にしています」とのこと。そして、答えて下さるそばから出動のサイレンが！去りゆくその後ろ姿に、頭が下がる思いでした。東日本大震災では『緊急消防援助隊』として被災地で活躍。そんな頼もしい隊員が揃う牧の原分署ですが「大災害だけでは守りきれない」とも、みなさんには防災訓練への参加や日ごろの物資備蓄、住宅火災警報器の設置など、協力していただきたいそうです。

ほっとレポート



広報レポーター：渡邊 信一（若萩）

去る8月26日の猛暑の中、六軒相撲大会（実行委員会 長・松本一正氏）が弁天川のほとり、六軒蔵島神社境内の特設土俵で行われました。この大会は、明治の横綱「鳳」が六軒の出身であることから、大人相撲の大会として戦前から昭和30年代前半まで盛んに行われていましたが昭和44年に中断。その後、地元のみなさんの熱意により、平成7年から同神社で少年相撲の大会として復活しました。復活後、第一回大会には、舞の海関を招へいたこともある由緒ある相撲大会です。

豆力士たち 熱戦の夏場所 「第18回六軒相撲大会」

競技前に神主による土俵の安全祈願が行われた後、松本会長から挨拶がありました。「相撲は礼をもって始まり、礼をもって終わる」というお話が印象的でした。

午前9時過ぎから小学4～6年の各20チームによる団体戦（1チーム5人）から行われました。各チーム3人が勝った方がトーナメントで勝ち上がっていきます。行司役は六軒消防団のみなさんで、土俵の所作は大相撲と同じです。最初に塩を撒き、行事の軍配もあり、土俵審判も東西南北に配置しての本式です。相撲解説も、NHKの解説者並の格調高いものでした。それに監督コーチやお母さんたちの声援合戦も加わり、ヒートアップ。数々の熱戦が繰り



▲お母さんたちによる尻相撲にも大喝采



仲間が見守る中、熱戦を繰り広げる豆力士たち



▲優勝したファイターズ部屋による水上パレード。全員で「ごっつあんです！」

小林マリオ部屋（小林キラーズ）の対戦となり、ファイターズ部屋が見事優勝を飾りました。午後からは、学年別個人戦が開催。個人戦で5人抜きした力士が決勝トーナメントに残ります。結果、4年生で3人、5年生で4人、6年生で7人の猛者が残り、

各学年で総当たり戦が行われました。豆力士相撲が終わると、お母さんたちによる尻相撲が行われました。先の個人戦と同様に、5人抜きを決めた女力士たちが決勝トーナメントで覇者を競いました。閉会式では、それぞれの上位入賞者に、地元の六軒産のお米を副賞として授与。最後に、ファイターズ部屋のメンバーと監督コーチが舟に乗り、弁天川から六軒川までの優勝パレードが行われました。熱い一日でしたが、弁天川からの涼風が救いでした。また、六軒地区のみなさんが、大会でのそれぞれの分担を黙々と果たす姿はさすがらしく、地域に根付いている相撲大会だと思いました。

リサイクル情報広場

掲載情報は9月27日現在
☎クリーン推進課クリーン推進班（☎内線 383）

◆ゆずります情報（有料の物は希望価格）

- ①ノートパソコン(1千円程度)②電子レンジ(4千円)③プリンター用のインク(2個で1千円)④小林中の学生服、長袖ワイシャツ(スボン200円、ワイシャツ300円)⑤牛革製巻き革(1千円程度)⑥アルトサクソホン(7千円)⑦電子ピアノ(3千円程度)⑧印西しおん幼稚園帽子⑨千葉商科大付属高校制服⑩買い物カート(ヘルスパック)。

◆さがしています情報

- ①大森小男子体操服②ピアノ(アップライト)③印西中学校の女子用制服と運動着④しおん幼稚園、男児、女児ジャージ、男児女児体操服(大きめサイズ希望)⑤天神幼稚園男児制服、女児制服、ブラウスなど⑥犬用乳母車⑦ベビーカー⑧リカちゃん人形⑨補聴器。

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバッグを持参しましょう。

